

学校給食用牛乳等供給推進事業

【864(960)百万円】

対策のポイント

安全で品質の高い国産牛乳を学校給食用に安定的かつ効率的に供給すること等により、学乳の供給量の維持・拡大を図ります。

<背景／課題>

- ・ 条件不利地域への学校給食用牛乳の供給を支援することにより安定的な生乳需要を確保するとともに、高付加価値な牛乳の供給を支援することにより学校給食用牛乳における生乳の利用拡大を図ることが必要です。
- ・ また、少子化の進行に伴い、児童生徒数の減少が見込まれることから、学校給食以外の牛乳の利用拡大を図り、牛乳・乳製品の需要を拡大することが必要です。

政策目標

学校給食で約40万klの牛乳の需要量を確保

<主な内容>

1. 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業

条件不利地域への円滑な供給等による安定的需要の確保のため、学乳供給に対する支援を行います。

2. 飲用拡大推進事業

学校給食における飲用牛乳に加えたヨーグルト等の提供、保育所等での新規飲用実施を支援します。

3. 高付加価値牛乳地域利用推進事業

自県産生乳を用いた低温殺菌牛乳の学校給食での供給を支援します。

学校給食用牛乳等供給推進事業 864(960)百万円

補助率：定額

事業実施主体：乳業者、生産者等が構成する組織

[お問い合わせ先：生産局畜産部牛乳乳製品課(03-3502-5987(直))]